

平成 30 年 1 月 1 日現在	
世帯数	961 戸
人口	2,372 人
男	1,192 人
女	1,180 人

年頭のあいさつ

内田地区町会連合会長 古幡 進一

新年明けましておめでとう
ございます。

皆さんにおかれましては、
家族そろって穏やかな新年を
迎えられた事と、お慶び申し
上げます。

日頃は、町会活動に深いご
理解とご協力をいただきまし
て厚く感謝申し上げます。

昨年は、全国的な異常気象
により、一時間に一〇〇ミリ
とか一二〇ミリの想像もつか
ないような、集中豪雨などの
大きな災害が発生しました。

8月7日には、台風5号の接
近で大雨が降り、土砂災害が
予想されるという事で、防災
無線により内田、中山に避難
準備情報と高齢者等の避難開
始情報が発令されましたが、
ほとんど影響がなく、課題を
残す結果となりました。むし
ろ、10月23日の台風21号のほ
うが大きな被害となり、予想

と発令を出すタイミングの難
しい事を、つくづく感じた所
です。今年こそは災害の無い
穏やかな一年であってほしい
と願っている所です。

私たち、町会連合会は 4 月
に就任し九ヶ月過ぎました。
いっそう安全で安心して暮ら
しやすい内田地区にすべく取
り組んでいます。いま、少
子高齢化時代の波は確実に押
し寄せており、65歳以上の高
齢化率は29%となっています。
松本市では、誰もが住み慣

れた地域で安心して暮らし続
けることが出来るよう、医療・
介護・予防・住まい・生活支
援が一体的に提供される「地
域包括ケアシステム」の推進
をしています。内田地区とし
ても、取り組みを進めていま
すが、さらに高度なものとし
るには、社会福祉協議会・福
祉ひろば・公民館が連携して

取り組んでいくのはもちろん
ですが、地域住民の皆様方の
ご理解とご協力なくして出来
ないと思っていますので宜し
くお願いいたします。

さて、内田には歴史ある文
化財が多くあり、これを守り
ながら後世に継承していく使
命もあります。特に馬場家住
宅・牛伏寺の仏像群・牛伏川
(フランス式) 階段工と3つの
国の重要文化財、また「ササ
ラ踊りや内田のおんべ」が松
本市の無形文化財に指定され
ています。中でも牛伏川階段
工は完成から一〇〇年を迎え
10月には一〇〇周年記念事業
が行われます。これを機会に
観光にも力を入れて行きたい
と思っていますのでお願いい
たします。

結びとして内田の皆様方の
今年一年のご健勝とご多幸を
祈念して、年頭の挨拶としま
す。



四柱神社にて

「シヨより素敵なシヨはない」

♪駒を飼いたる昔の牧に
内田千戸の花が咲く

「松本郷土芸能フェスティ
バル in えびす講」という一
歩引いてしまいうるな、いか
めしい名の会から、内田ササ
ラ踊りへの出演依頼がありま
した。発表会場は、四柱神社
神楽殿。「まつもと城下町えび
す講しようふく祭」の催しの
一環で、発表の場としては申
し分の無いもので、依頼をお
受けする事にしましたが、開
催日が11月19日。晩秋の盆踊
りは、私たちは経験がありま
せん。支度をどうするか、練
習を兼ねて、かんかんがくが
く協議した結果、浴衣の上に
法被を着ることにしました。

荒れるえびす講の異名のと
おり、前日は降雪がありまし
たが、当日は、風は少々冷た
かったものの、時々薄日のさ
す中、歌い手二名、楽器演奏
者六名、太鼓及び踊り手十三
名が、練習の甲斐もあり、素
晴らしい演奏、踊りを披露出
来、主催者から絶賛の言葉を
いただきました。



丸山 幸英

♪内田良いとこ一度はおいで
お寺参りや湯遊びに井
ササラ踊り実行会会長

いであるとき、信州大学の学
生を連れた、美人女性教授に
呼び止められて、質問を受け
ました。内容は、保存会活動
発表の場、歴史的経過につい
て等々でしたが、別れ際教授
が、連れの中には、「この踊り
踊れます。」と語っていた学
生がいると話されました。た
ぶん明善学区出身の学生でし
ょう。これこそが保存活動の
たまもので、いつの日か、彼
がこの活動に参加してくれる
ことを願っていますと、カッ
コいいことを言っていて別れま
した。

秋の日はつるべ落し。
西日に日が沈むころ、帰路に
つきました。

霜秋の文化芸術めぐり

11月25日に、公民館行事の、諏訪の文化財を訪ねる旅に参加してきました。

まず最初に訪れたのは、山下清美術館です。何回も近くを通ったことはあるのですが、入ったことはありませんでした。外観からは想像できないくらい、展示品が充実していました。山下清さんは、作品を制作するのが早く、残した作品数は大変多いそうです。いろいろ嫌な目にも遭いながら、こつこつと作品を作り、美術館の収蔵数は日本一だということに驚きました。

館長さんの説明があったお陰で、作品の背景や見る人の位置

によって作品が動いて見える独特の技法などがよくわかりました。

昭和29年頃、約ひと月小野釈の近くのタイガー食堂に滞在し作品を残していることを初めて知りました。両小野中に勤務していた時に、何回もお世話になった食堂で、是非機会を作って再訪してみたいと思いました。

次に、神長官守屋資料館を訪れました。守屋氏は、諏訪大社上社の神長官を明治維新まで務めてきた家柄で、守屋資料館は鎌倉時代より守屋家に伝わってきた守屋文書を保管・公開する資料館です。とても変わった建築で、ユニークでした。

最後は、岡谷市のイルフ童画館です。童画とは、大人が子ども向けに描いた絵のことで、岡谷市出身の武井武雄が一九二五年に開いた個展で、初めて使われた言葉だそうです。

独特の世界観や技法で描かれた絵は、見る人を圧倒します。本作りにもこだわり、会員向けに部数を限定し、一から手作りしたシリーズには、感心するばかりでした。

第五町会 丸山 宇一



しめ縄・ふかし饅頭づくり

年末恒例のしめ縄・ふかし饅頭づくり講習会が12月9日

内田公民館で行われた。小学生を中心に保護者の皆さんも含め参加者は三十人を越えた。朝早くから準備されたシート上の稲わらを前にしめ縄の説明を聞く。豊作祈願に由来があるようだ。早速手本を見せてもらう。「ごぼう」「おちよこ」「輪じめ」「三種類ど

れも見覚えはある。いよいよひとりずつ湿ったわらをより合わせる。手本に近づけようと

頑張る子ども達、お母さん達も悪戦苦闘している。小さな手で何度もより合せ少しずつ形に成って来た。皆真剣だ。

隣りの調理室でもふかし饅頭の準備が進む。しめ縄の手を休め中身包みに参加する。今日の具はあずきと切干大根、皆きれいに包めたのか出来上りが楽しんだ。ほどなく蒸し上った饅頭が机に並ぶ。大満足な出来で、皆でおいしくいただいた。しめ縄講師のお二方、ふかし饅頭講師のお

三方、皆様ありがとうございました。伝統や文化を子ども達が体験出来る機会は年々少なくなっており。またお力添えをお願いいたします。子ども会育成会長

丸山 剛徳



三九郎



内田地区では1月13日(牧ノ内のみ7日)に、三九郎が行われました。五穀豊穡と無病息災を願って、長年にわたって伝えられてきた行事です。今後永く受け継がれてほしいですね。



つれづれ編集集記



静岡県三島市の国道一号線沿いにある「三島スカイウォーク」に行ってきました。目的は施設内の「三島大吊橋」を渡ることでした。歩道幅一・六メートルで高さは七十メートル。箱根峠の中腹に建設されているので、富士山も駿河湾も見られて景色は本場に最高です。当日は天候にも恵まれた上に、見学した時間が夕方だったので夕日に染まった駿河湾に魅了されました。

しかしながら、この吊橋の最大の魅力は全長四〇〇メートル、日本一長い吊橋であることです。少し風が吹けばフワフワ揺れて、高い場所でも比較的平気だと思っていた自分でしたが、ただただ悲鳴のような弱音を吐き続けて何とか渡り切りました。途中で引き返す人もいるくらい恐怖もありましたが、とても気持ちよかったです。

余談になりますが、正月にも関わらず暖かい日だったので、現地ですべた濃厚ソフトクリームは本当に美味しかったです。

第五町会 赤羽 勝彦